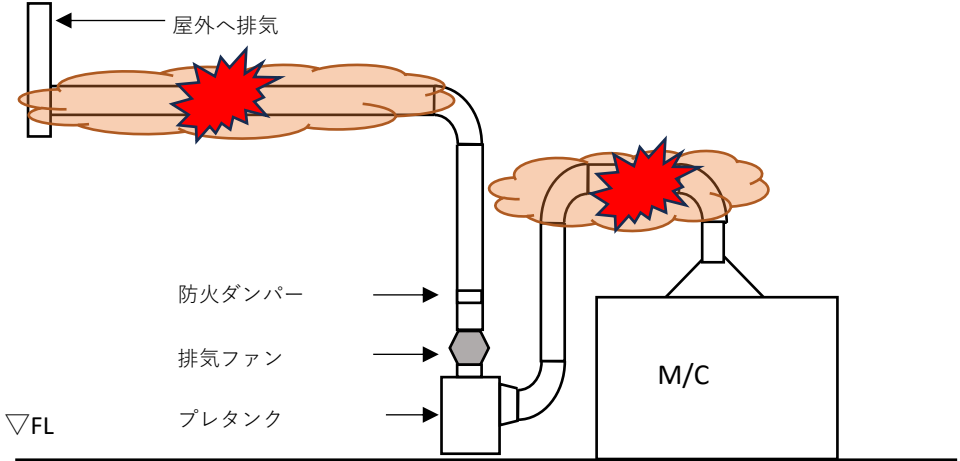

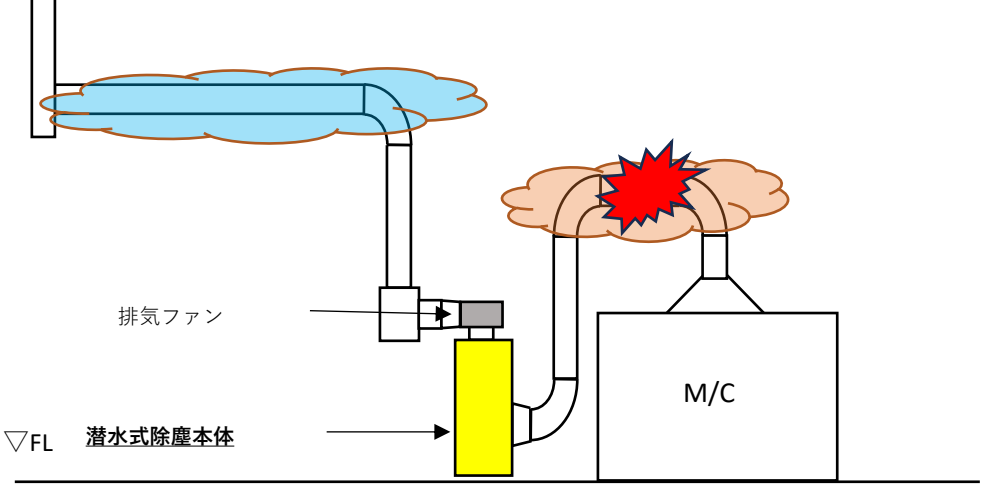

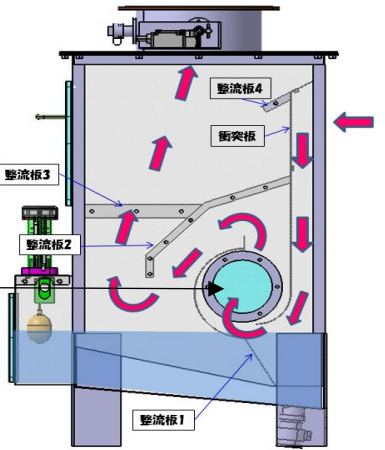



分野	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル <input type="checkbox"/> デジタル化（生産性向上、自動化/省人化）、IoT <input checked="" type="checkbox"/> BCP（防火・防災）/安全 <input type="checkbox"/> その他（シンプル・スリム・コンパクト、品質向上等）			問合せ先	URL: <a href="http://www.toyo-kogyo.net">http://www.toyo-kogyo.net</a>	
	展示No	提案名	工法	新規性	部署名: トヨタ工事部	TEL: 0565-28-1924
85	潜水式除塵装置			担当名: 星野 俊光	メールアドレス: t-hoshino@toyo-kogyo.net	
会社名	所在地			主要取引先	海外対応 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否 <input checked="" type="checkbox"/> ※生産拠点国	
東洋工業株式会社		愛知県豊田市鴛鴨町新林130			トヨタ自動車株式会社、株式会社東海理化、豊生ブレーキ工業株式会社、豊田鉄工株式会社、その他	

<< 提案内容 >>

提案の狙い	希望提案先
<p>①可燃物②酸素③火種のうち1つが除去されれば火災は発生しない。 過去の経験より発生する溶接火花を消火できる水を使用。</p>	<p>・溶接工程 ・火災対策を検討している工程</p>
従来	提案内容（技術・製品・サービス）
 <p>屋外へ排気 防火ダンパー 排気ファン プレタンク ▽FL M/C</p> <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火種が溜まっている粉塵に着火し、火災となってしまう（ 部分で火災となる）</li> <li>・排気ファン以降に防火ダンパーを取付しているが、ダンパー以降の火災が発見しにくい（発見時にはかなり火災が進行している）</li> <li>以上の様な状態となった場合、大きな火災に繋がってしまいます</li> </ul>	 <p>排気ファン ▽FL 潜水式除塵本体 M/C</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除塵内部にて排気を水に接触させることで同時に吸い込んだ火種を消火させることができる（ 部分での火災発生率が大幅にダウン）</li> </ul> <p>【潜水式除塵装置の仕組み】</p> <p>この部分で水を巻き上げ（スクラバーさせる）、火種と水を接触させて、消火</p> 

セールスポイント	問題点（課題）と対応方法	開発進度	（ 2024年 8月 現在）			特許の有無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災の原因、溶接火花（火種）をいち早く消火</li> <li>・トヨタ自動車様に100台以上の納入実績あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸込ダクトでの火災リスクは残りますが（ 部分）距離を短くすることで、火災発生率を下げる事が可能です</li> <li>・定期清掃が必要となります（目安：トヨタ構内でも3～6ヵ月/回）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input type="checkbox"/> 製品化完了段階 <input checked="" type="checkbox"/> 納入実績有				無し
従来との比較	項目	コスト	質量	生産/作業性	カーボンニュートラル効果	
	数値割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除塵装置+ファン+制御盤 約1,600千円</li> <li>・ダクト+水配管 約2,000千円</li> </ul>	重量合計：250kg （ファン：60kg） （除塵水：85kg） （除塵BOX：100kg）	—	—	